

中津市一般廃棄物処理基本計画（中間見直し）【要旨】

1. 一般廃棄物処理基本計画とは

循環型社会の形成に向けて、一般廃棄物の減量・資源化と適正処理に関する施策を、総合的・計画的に推進するための計画です。本計画では、ごみ総排出量やリサイクル率等の目標値を定め、目標に向かって各種減量、資源化のための施策を計画しています。現在の計画は平成30年4月に策定し、平成30年度から令和9年度まで（10年間）の計画となっています。

2. 計画見直しの趣旨及び変更点

(1) 趣旨

- 以下の点を踏まえ、令和4年度に予定していた計画の中間見直しを行うものです。
- ・令和3年度以降に実施する資源プラ（容器包装プラスチック）の分別収集や、ごみ袋の有料化などの新たな施策の効果を反映した目標値の見直し
 - ・『食品ロスの削減の推進に関する法律（食品ロス削減推進法）』の施行に伴い、『食品ロス削減推進計画』を計画内に加える

(2) ごみ排出量の推移及び大分県・全国比較

項目		H29	H30	R1
ごみ総排出量	中津市	31,538t	31,085t	30,877t
一人1日あたりごみ排出量 (g/人・日)	中津市	1,021	1,011	1,004
	大分県	936	948	962
	全国	920	918	918
リサイクル率 ^(※)	中津市	18.9%	19.2%	22.4%
	大分県	20.6%	18.7%	19.1%
	全国	20.2%	19.9%	19.6%

※リサイクル率は、RPFなどの固形燃料化や焼却飛灰のセメント原料化などの中間処理後の再利用を含みます

(3) 食品ロス削減推進計画について

「食品ロス削減推進法」において、市町村は、国の「食品ロス削減推進基本方針」を踏まえ、「食品ロス削減推進計画」を定めることが努力義務として規定されています。

国の基本方針では、食品ロスを平成12年度比で令和12年度までに半減させるという目標を設定しており、本市においても国や県と同様の目標を設定し、本計画の目標値とします。

中津市	基準年度 (H12)	現状値 (R1)	計画目標値 (R9)	最終目標値 (R12)
家庭の1人1日あたり食品ロス排出量 (g/人・日)	102	65	55	51

※食品ロス排出量は国（環境省）の推計方法に準じて算出

(4) 目標値の見直しについて

新たな目標値は、資源プラ（容器包装プラスチック）の分別収集、ごみ袋の有料化による「資源ごみ」の適正分別の徹底やごみの排出抑制、食品ロスの削減による「燃やすごみ」の減量により見込む効果を反映

項目	最終年度 (R9 年度) の目標値	備考
燃やすごみの減量	△151g/人・日	資源プラの分別収集：45g/人・日
		有料化による資源ごみの適正分別：40g/人・日
		有料化によるごみの排出抑制：57g/人・日
		有料化による食品ロスの削減：9g/人・日
資源ごみの増加	+ 85g/人・日	資源プラの分別収集：45g/人・日
		有料化による資源ごみの適正分別：40g/人・日

3. 計画目標値の新旧比較

○新旧比較表

項目	R1 (実績)	比較	R9 (目標年度)	新旧比較
ごみ総排出量	30,877t	新	23,449 t	△2,697t (△10.3%)
		旧	26,146 t	
一人1日あたりごみ排出量 (g/人・日)	1,004	新	801	△92g (年△34 kg)
		旧	893	
一人1日あたり家庭ごみ排出量 (g/人・日)	698	新	626	△14g (年△5 kg： ごみ袋約1袋分)
		旧	640	
リサイクル率	22.4%	新	35.5%	+6.3 ㊦
		旧	29.2%	

○第四次循環型社会形成推進基本計画（環境省策定）との比較

項目		R1 (実績)	R7 環境省目標年度
一人1日あたりごみ排出量 (g/人・日)	中津市	1,004	847
	環境省	918	850
一人1日あたり家庭系ごみ排出量 (g/人・日)	中津市	578	435
	環境省	509	440

※令和7年度は環境省が定める『第四次循環型社会形成推進基本計画』の目標年度にあたる

※家庭系ごみ…家庭ごみのうち、びん・缶・ペットボトルなどの資源ごみを除いたごみ